

経営理念

お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた、なくてはならない会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

EXCEED YOUR VISION

私たちエプソン社員は、
常に自らの常識やビジョンを超えて挑戦し、
お客様に驚きや感動をもたらす
成果を生み出します。

私たちのパーパス

「省・小・精」から生み出す価値で 人と地球を豊かに彩る

Our philosophy of efficient, compact and precise innovation
enriches lives and helps create a better world.

エプソンは、豊かな自然や文化に恵まれた信州で誕生しました。

そんな私たちが抱き続けてきたもの、それは「省・小・精」の技術で、人々の暮らしを豊かにしたいという想い、
そして、自然の豊かさを守り、未来へつないでいきたいという強い想いです。

これまで世界に先駆けてフロンを撤廃するなど、つねに社会課題に目を向け、誠実に取り組んできました。

そのなかで追求してきたエプソン独自の「省・小・精」。

大きいこと、量が多いことだけが豊かさではない。省くこと、小さくすること、精緻さを突き詰めること、
これこそが、自然環境にやさしく、人々のところを豊かにできるものだと思っています。

「省・小・精」から生み出す、より大きな価値で、人と地球を豊かに彩っていきたい。

私たちは、そんな想いを実現していきます。

INDEX

タイトルクリックで、該当ページへ遷移できます。

メッセージのポイントと連動するコンテンツ ■ CEOメッセージ内に掲載 ■ CEOメッセージ外で掲載

CEOメッセージ 3-11



1 **社長就任にあたって**
・お客様を起点にした戦略をグローバルに遂行する

2 **2024年度の振り返り**
・前年度に比べて増収増益だが、為替などの外的要因によるプラス影響があったほか、事業によっては収益性が十分とは言えない

3 **2025年度の見通しと課題**
・まずは市場や競合他社影響による変動リスクを慎重に見極め、業績見通しに反映し、改善に向けたアクションを実施する

特 集 企業価値向上へ向けた財務の取り組み

4 **成長戦略／事業戦略の進捗**
・お客様起点のイノベーションの徹底
・成長を加速させる事業ポートフォリオの最適化
・サステナビリティ経営の深化

コラム Fieryが提供する価値

事例紹介 サステナビリティの実践(欧州／アメリカ)

5 **グローバル戦略における課題と打ち手**
・新興国といわれる、東南アジア、南アジア(特にインド)、中東・アフリカ、中南米といった成長市場に注目

コラム 新興国市場での販売戦略(東南アジア／インド／アフリカ／南米)

コラム 新興国市場での製造戦略(インドネシア)

6 **お客様との関係強化**
・単なるハードの売り切り型から脱却し、サービスなどを通じて継続的につながる関係に変えていく

コラム お客様との関係強化(欧州)

7 **スピードと実行力を高めるチーム経営**
・議論の質を高め、迅速な意思決定と実行につなげる経営を重視

コラム Message from 取締役執行役員

8 **「人の力」とエンゲージメント**
・人的資本経営と健康経営を両輪とし、多様で自律した人材がやりがいを持って活躍できる企業文化(カルチャー)の醸成

コラム 組織カルチャー(欧州／アフリカ)

9 **ステークホルダーの皆さまへ**
・私たちが持つ有形無形の資産を掛け合わせ、揺るぎない収益力を確立し、企業価値の向上に全力を尽くす

ページ順に読みたい方や、個別具体的な取り組みをご覧になりたい方はこちらからご希望の記事を選択し、ご覧ください。

1 - 2 経営理念・私たちのパーパス／INDEX

3 - 11 CEOメッセージ

12 価値創造ストーリー

13 - 14 エプソンの歩み／「EPSON」ブランド制定から50周年

15 - 16 グローバルネットワーク／At a Glance

17 - 20 エプソンの強みと事業成長に向けた取り組み

21 - 22 企業価値向上へ向けた財務の取り組み(■)

23 - 26 サステナビリティ経営
事例紹介：サステナビリティの実践(■)

27 - 29 各事業／本部のトップによるコミットメント

— 事業成長を支える基盤の取り組み紹介 —

31 - 32 技術開発戦略

33 知的財産戦略

34 DX戦略

35 - 40 環境戦略

41 - 44 人材戦略

45 - 46 人権尊重への取り組み

47 - 48 責任あるサプライチェーン

49 - 52 特集：機関投資家と社外取締役との対話

53 - 62 ガバナンスの強化

63 パーパスの実現に向けて

— ファクトデータ —

65 - 66 財務・非財務ハイライト

67 - 68 主要な財務数値の推移

69 社外からの評価

70 企業データ／注釈一覧

■ 発行時期：2025年11月

■ 対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日(一部に対象期間外の情報も含んでいます)

■ 対象組織：エプソングループ会社89社(当社含む)

* 本文中「エプソン」と表記した場合はエプソングループを、「当社」と表記した場合はセイコーエプソン株式会社を指します。

* 本レポートに掲載している業績は表示単位未満を切り捨てとしています。

* 本レポートに掲載されている画像などの無断転載はご遠慮ください。

■ 編集方針

エプソンは、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまに、エプソンのパーパスへのご理解を深めていただくとともに、皆さまとの対話を通じて施策を磨き上げ、さらなる企業価値の向上への好循環を生むことを目的に、統合レポートを制作・発行しています。

今年度の統合レポートは、株主・投資家の皆さまとの面談などで得られた示唆や、グローバル企業としてのエプソンの強みへの理解をさらに高めていただくことを意識して作成しました。

■ 免責事項

本レポートには、エプソングループの過去と現在の事実だけでなく、将来の見通しや予想なども記載しています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づく将来の予測であり、実際にはさまざまな要素により、事業活動の結果や事象が予想とは異なったものとなる可能性があります。